

要望書

国際クルーズの早期再開について
～地域経済の活性化のために～



令和4年11月

熊本県八代市

平素より、当市行政及び観光振興に対して格別のご配慮を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、八代港においては、アジアの経済成長等を背景に日本への国際クルーズ船寄港回数が増加する最中の平成29年度に、国際旅客船拠点形成港湾の指定を受け、国、熊本県、ロイヤルカリビアン社の3者連携により国際クルーズ拠点「くまモンポート八代」が整備され、令和2年3月に完成しました。

しかし、令和2年2月以降の国内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国的にクルーズ船の運航が停止、国内船については同年10月以降順次再開し、八代港にもこれまでに3回の寄港がありました。外国船についてはいまだ再開に至っておりません。

新型コロナウイルス感染症の影響により打撃を受けた地域経済を回復させるためには、感染症対策の徹底を図りつつ、地域への経済効果が大きく、観光振興、地域振興に繋がる国際クルーズによるインバウンド需要を取り込んでいく必要があります。そのため、本市としても、港湾管理者である熊本県と連携し、地元住民のクルーズ船に対する歓迎機運の醸成や寄港地ツアーの造成、またウィズコロナにおける適切な受入体制の整備等を行っているところです。

しかしながら、外国籍船を含む国際クルーズ運航が再開するためには、前提となる運航継続基準等の策定について、国による更なるご支援が必要不可欠であります。

つきましては、下記事項について特段のご配慮をお願いいたします。

記

1 外国籍クルーズ船社による早期運航再開の実現に向けた支援

国際クルーズの早期運航再開を実現するために、現在国内を運航するクルーズ船に適用されている新型コロナウイルス感染者が発生した場合の運航継続基準にとらわれず、有症者発生時の対応と感染者の管理について、船内で適切な隔離をしながら運航を継続することなども含め、安心安全を確保しながらも外国籍船社が運航しやすい運航継続基準を策定していただくようお願いいたします。

令和4年11月

八代市長 中村博生